



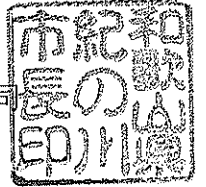
19 紀建総発第 2 7 0 0 1 号

平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省 道路局長 殿

和歌山県紀の川市

市長 中村 眞司



中期的な計画の作成にあたっての意見について(回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 1 1 4 号にて依頼のありました標記の件について、別紙のとおり報告しますので、よろしく申し上げます。

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

京奈和自動車道の早期実施について

(ポイント1:国際競争力の強化)

(ポイント2:地域の自立と競争力強化)

京奈和自動車道は、関西大環状道路の中核的な役割を果たす要であり、この道路を活かした「まちづくり」や、地域間交流の促進と地域連携の強化、経済の活力や発展を図るために本市にとって国土軸に直結する大変重要な位置付けの道路であります。

そのため紀の川市を含め、和歌山県域において、紀北東道路の早期工事完成を強力に推進されたい。また、それと平行して紀北西道路については、和歌山市側からも早期工事着手できるよう強力に推進されたい。

京奈和自動車道「(仮称)打田インターチェンジ」から

阪和自動車道「上之郷インターチェンジ」への直結について

(ポイント1:国際競争力の強化)

(ポイント2:地域の自立と競争力強化)

京奈和自動車道から関西国際空港へは、紀の川市から西の阪和自動車道の結合点である(仮称)和歌山JCTからとなり、打田ICから上之郷ICの直結道路ができれば関西国際空港への最短ルートとなり、京奈和自動車道の利用者も増え、通勤圏、買物圏の拡大、世界遺産への最短ルートとしても機能することとなり、本ルートの計画、実施を推進されたい。

府県道泉佐野打田線の整備促進について

(ポイント1:国際競争力の強化)

(ポイント2:地域の自立と競争力強化)

(ポイント3:安全・安心の確保)

紀の川市の「表の玄関口」と言われる府県道泉佐野打田線は、関西国際空港・阪和自動車道への府県間をまたぐ重要なアクセス道路であり、今後、京奈和自動車道のインターへのアクセス道路として、本市の振興には欠かすことのできない重要幹線道路であります。

本道路は、国道24号及び国道424号に連絡しており、広域的な見地から国道ネットワークを充実させるため、本市から大阪府側の泉佐野市まで、全線4車線化の整備促進に向け、推進されたい。

(仮称) 市道「国道中ノ才線」道路改良工事の事業採択について

(ポイント 2 : 地域の自立と競争力強化)

当路線の計画区域は、紀の川市の北側に位置し、国道 24 号から北へ約 600m 先には近年、西日本最大規模を誇る J A 紀の里「農産物流通センター」が完成、稼動しており、さらに北寄りには京奈和自動車道のインターチェンジが設置予定であり、これら幹線道路を結ぶルート確保が緊急の課題となっています。

当路線は、一級河川紀の川の南側に施工中の広域農道（紀の里地区）から国道 24 号を横断して、京奈和自動車道「(仮称) 粉河・那賀 IC」へとアクセス道路として、紀の川市はもとより、広域の道路ネットワークの構築と、基幹産業である農業をはじめとした産業振興をはかるうえでも最も重要な位置の路線であります。

当該ルート建設には J R 和歌山線にかかる跨線橋の新設も必要となり、多額の事業費が想定されるため、補助事業の採択をお願いするものです。

府県道泉佐野岩出線の南伸ルート（海南市）に至る道路の具体化について

(ポイント 1 : 国際競争力の強化)

(ポイント 2 : 地域の自立と競争力強化)

府県道泉佐野岩出線については、京阪神方面や関西国際空港へのアクセス道路として、現在岩出市まで都市計画決定され、工事が順調に促進されていますが、府県道泉佐野岩出線の岩出市以南から本市貴志川地区を通り、海南市に至る道路の南伸ルートについては調査中ではありますが、この南伸ルートの確保により紀の川の河南部である本市貴志川・桃山地域及び紀美野町、海南市東部地域及び和歌山市東部地域より、京奈和自動車道の岩出インターチェンジへのアクセス道路となり、周辺地域の中で非常に地域要望の高い交通路線として、整備促進を強くお願いするものです。

国道 480 号の建設促進について

(ポイント 2 : 地域の自立と競争力強化)

紀の川市の「東の玄関口」と言われる一般国道 480 号につきましては、大阪府と和歌山県を結ぶ社会経済活動の骨格を成す重要な道路であり、関西国際空港へのアクセスとして、また世界遺産に登録されました霊峰高野山への最短ルートとして重要な役割を果たす道路であります。

しかしながら、大阪府と和歌山県間を結ぶ現道は、幅員も狭く勾配は急峻であるうえ、特に冬期は凍結するなど、自動車の通行が非常に困難な状況であることから、本道路の早期完成に向けて、そしてまた本市管内のルート整備についても更に格別のご配慮を賜り、一日でも早く整備促進が図られる様、お願いするものです。

紀の川市市道の整備促進について

- (ポイント2:地域の自立と競争力強化)
- (ポイント3:安全・安心の確保)
- (ポイント5:既存ストックの長寿命化)

紀の川市は住みよい環境づくりのために、計画的な都市基盤の整備をするため、都市計画マスタープランの策定に取り組んでいます。その基盤となる道路(市道)においても整合性を図りながら紀の川市道路整備計画の策定も急務となっております。

紀の川市は県都和歌山市への通勤圏でもあり、かなりの交通渋滞が生じています。

また近年、東南海・南海地震の発生が想定される中、市内の幹線道路網を整備し、ライフラインの確保に努め、安全で安心できる環境づくりを実施する中、格別のご支援をお願いするものです。

○効率化を進める上で重視すべきこと

現在利用している道路改良を優先することにより、現時点での問題点(交通渋滞・緊急時の使用)の解決に即時対応できると考えます。

「限られた予算」で「最大の効果」を得るべく今後、道路建設にあたり計画段階から地元住民の意見を聞き、費用対効果を点検し、工法的にも新技術等を導入し、コスト削減に努めることが重要であると考えます。

紀の川市としては、橋梁も大変多く、本年度より耐震診断をするべく計画している中、修繕・架替えに掛かる費用に対して、補助金制度の格別なるご支援をお願いいたします。

○その他

紀の川市では少子高齢化が進み、また経済発展の足踏み状態が続く中、大都市大阪へのアクセス道路が最も必要な道路政策であり、そのためにも弊害となる和泉山脈を通り抜ける府県間道路の開通、京奈和自動車道の阪和自動車道への連結が今よりも一層、紀の川市を関西都市圏の一員とすることになります。

その結果として本市の経済発展となり、またライフラインの確保ともなり、紀の川市が魅力ある街づくり、安全で安心できる暮らしにも繋がると考えます。

本市と致しましては、まだまだ道路整備が必要であると考えているのが実情でありますので、今後とも格段のご支援をお願いいたします。